環境報告書
２０２６



八王子市館クリーンセンター

目　次

ページ

私たちの取組・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

第１章　事業概要

１．施設のあらまし・・・・・・・・・・・・・・　３

２．私たちの組織・・・・・・・・・・・・・・・　５

第２章　私たちの環境配慮の取組

１．八王子市ごみ処理基本計画
「循環型都市八王子プラン」・・・・・・　７

２．環境負荷・・・・・・・・・・・・・・・・・　８

３．環境対策・・・・・・・・・・・・・・・・・　９

４．ＰＲＴＲ制度に基づく排出量及び移動量・・　１３

５．熱エネルギーの有効利用・・・・・・・・・　１３

６．環境負荷を減らす取組・・・・・・・・・・　１４

７．安全衛生などの取組・・・・・・・・・・・　１５

８．電気自動車の活用・・・・・・・・・・・・　１５

第３章　コミュニケーション

１．環境情報の公開・・・・・・・・・・・・・　１７

２．イベント関係・・・・・・・・・・・・・・　１８

３．施設の見学・・・・・・・・・・・・・・・　１９

４．館クリーンセンターの５つの基本方針・・・　２０

５．事業のあゆみ・・・・・・・・・・・・・・　２１

巻末資料

・用語の解説・・・・・・・・・・・・・・・・　２２

・案内図、問合せ先・・・・・・・・・・・・・　２５

表紙写真：館クリーンセンター全景

私たちの取組

令和７年（2025 年）８月の組織改正により、資源循環部・水循環部・環境部が統合され新たな環境部として再編されるとともに、戸吹クリーンセンターと館クリーンセンターも統合することで、より効率的な運営と環境を意識した組織としてスタートを切りました。

令和８年（2026 年）３月頃からは、中東情勢の緊迫化などを背景としたエネルギー価格の高騰により、灯油をはじめとする燃料費や各種コストの上昇が続き、市民生活や事業活動にも影響が及び始めています。こうした状況の中、館クリーンセンターでは、ごみ焼却による熱エネルギーの有効活用を一層推進し、発電効率の向上や最適化に取り組むことで、外部エネルギーへの依存低減と安定的な施設運営の両立を図っています。

また、館クリーンセンターはどなたでも自由に見学できる施設であり、工場見学会や煙突のぼり体験などの体験型事業を実施しています。令和７年度（2025 年度）には 16,000 名を超える方々にご来場いただき、環境問題を身近に感じていただく機会の充実に努めました。こうした活動を通じて、市民・事業者の皆様がごみの減量や分別の重要性について理解を深めていただいたことが、八王子市の「1 人 1 日当たりのごみ排出量４年連続日本一」という結果にも表れていると感じています。

今後も、社会情勢の変化に的確に対応しながら、市民生活を支える基盤施設として、安全で安定した運営を継続するとともに、地域とともに歩むクリーンセンターとして、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

令和８年（2026 年） ９月

資源循環施設管理課

課長 熊澤 智

■ 報告する期間

令和７年（2025 年）４月１日から令和８年（2026 年）３月 31 日まで

■ 準拠したガイドライン

「一般廃棄物処理施設向け環境報告書ガイドライン 2005 年度版」東京都環境局

第１章　事業概要



敷地内に生息している「ムササビ」

１．施設のあらまし

館クリーンセンターは、八王子市の西南部に位置し令和４年（2022 年）10 月より稼動し、市域の可燃ごみを焼却処理しています。同時に、焼却から発生する熱エネルギーを利用した発電設備により工場内で使用する電力を賄うとともに、FIT 制度を活用した売却及び自己託送、電力会社へ売却しています。また、焼却した後に発生する灰はエコセメントの原料として再利用しています。

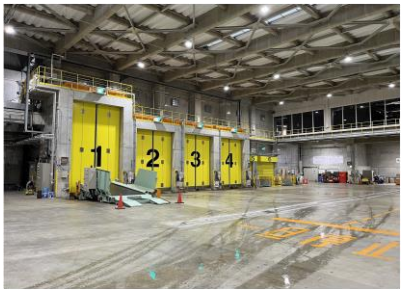
※FIT 制度、自己託送　P23 参照

施設概要

処理能力	160 トン/日（80 トン/日×2 炉）	
敷地面積	72,299.02 m^2	
建築面積	5,507.65 m^2（工場棟）	
竣工	令和４年（2022 年）９月	
排ガス処理設備	いおう酸化物・窒素酸化物・塩化水素除去設備、無触媒脱硝設備・反応ろ過集じん装置	
焼却方式	流動床式焼却方式（流動床炉式ガス化燃焼炉）	
発電設備	蒸気タービン発電機・出力 4,440 kW	
自己託送先	本庁舎・小児･障害メディカルセンター・東浅川保健福祉センター・こども科学館・ひよどり山トンネル・北野衛生処理センター・大横保健福祉センター・プラスチック資源化センター・戸吹不燃物処理センター・北野環境学習センター・戸吹清掃工場	
自主基準値	ばいじん	0.01 g/m^3N 以下
	塩化水素	15 ppm 以下（要監視基準 10 ppm）
	いおう酸化物	10 ppm 以下
	窒素酸化物	50 ppm 以下

処理にかかる経費：ごみ１トン当り　37,023 円（令和７年度実績）

※八王子市全体のごみの焼却に関連した経費



プラットホーム

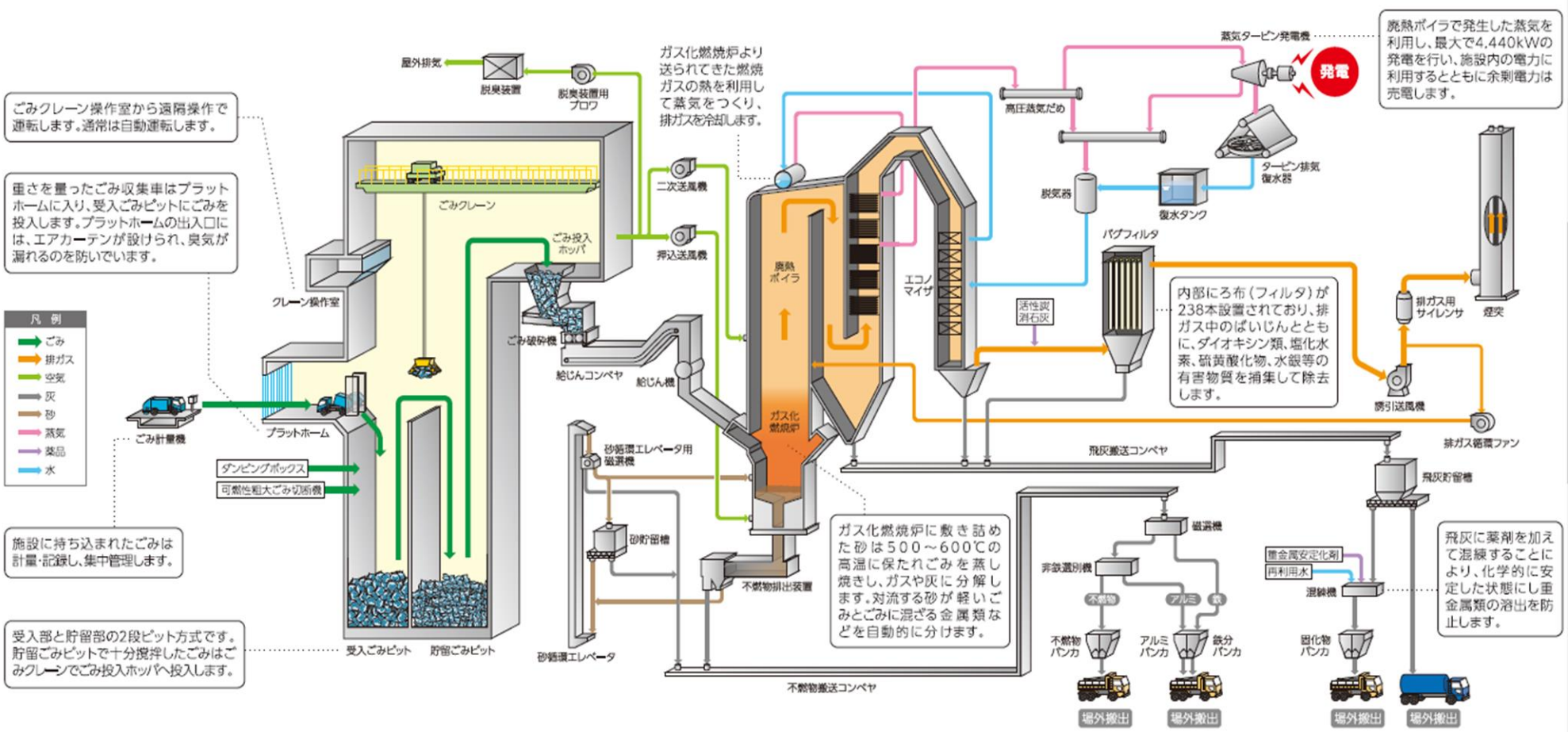
搬入した可燃ごみは、計量した後プラットホームからごみピットに投入します。



流動床炉式ガス化燃焼炉

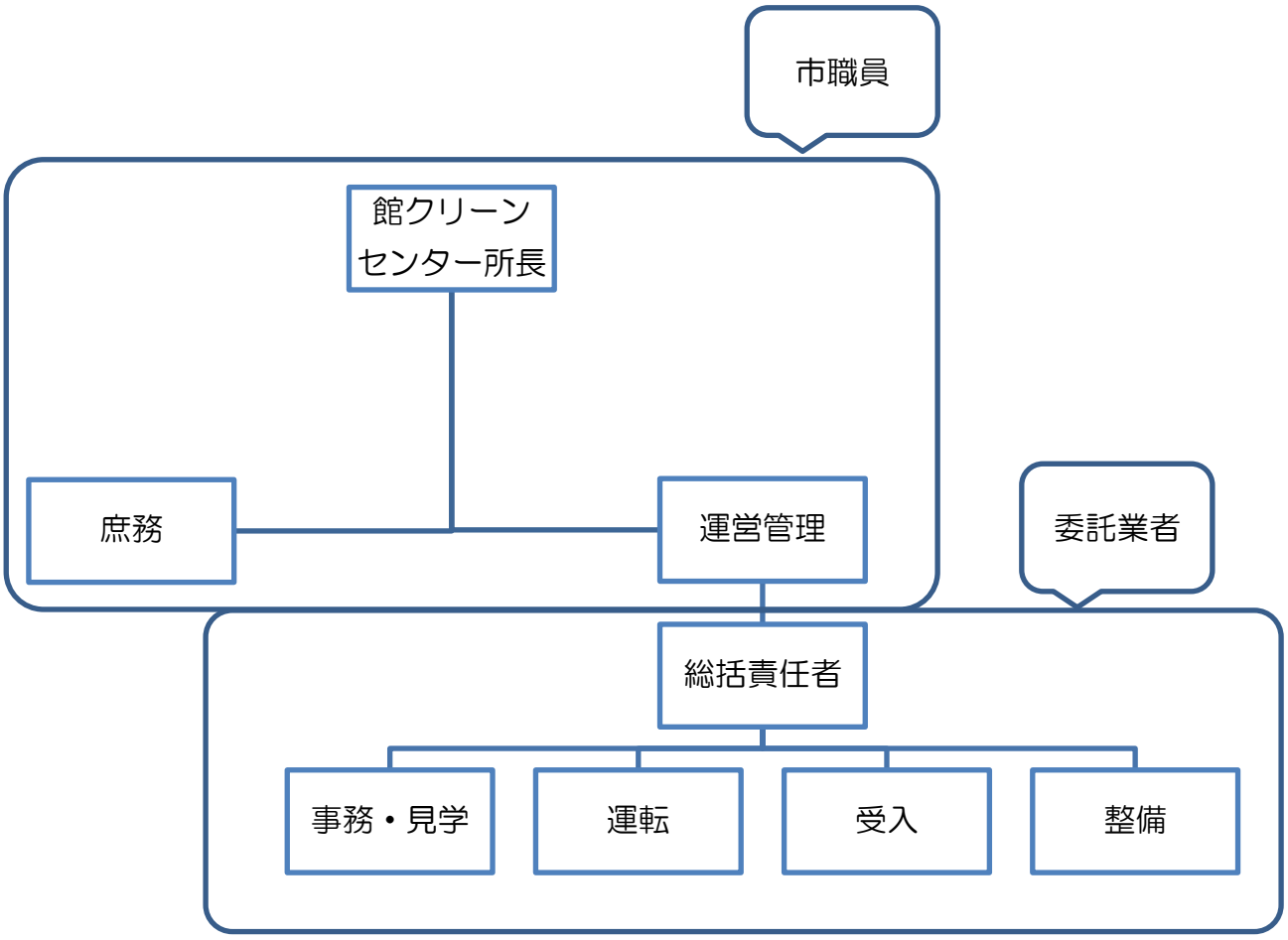
高温（500～600℃程度）の流動砂によってごみを熱分解し、ガス化します。その後空気を吹き込んで高温（850℃以上）燃焼します。

施設の様子


ごみクレーン操作室から遠隔操作で運転します。通常は自動運転します。
重さを量ったごみ収集車はプラットホームに入り、受入ごみピットにごみを投入します。プラットホームの出入口には、エアカーテンが設けられ、臭気が漏れるのを防いでいます。
凡例
ごみ
排ガス
空気
灰
砂
蒸気
薬品
水
施設に持ち込まれたごみは計量・記録し、集中管理します。
受入部と貯留部の2段ピット方式です。貯留ごみピットで十分撹拌したごみはごみクレーンでごみ投入ホッパへ投入します。
屋外排気
脱臭装置
脱臭装置用ブロワ
ごみクレーン
クレーン操作室
ごみ投入ホッパ
ごみ破砕機
給じんコンベヤ
給じん機
ごみ計量機
プラットホーム
ダンピングボックス
可燃性粗大ごみ切断機
受入ごみピット
貯留ごみピット
ガス化燃焼炉より送られてきた燃焼ガスの熱を利用して蒸気をつくり、排ガスを冷却します。
二次送風機
押込送風機
廃熱ボイラ
ガス化燃焼炉
エコノマイザ
砂循環エレベータ用磁選機
砂貯留槽
砂循環エレベータ
不燃物排出装置
不燃物搬送コンベヤ
ガス化燃焼炉に敷き詰めた砂は500～600℃の高温に保たれごみを蒸し焼きし、ガスや灰に分解します。対流する砂が軽いごみとごみに混ざる金属類などを自動的に分けます。
蒸気タービン発電機
発電
廃熱ボイラで発生した蒸気を利用し、最大で4,440kWの発電を行い、施設内の電力に利用するとともに余剰電力は売電します。
高圧蒸気だめ
タービン排気復水器
脱気器
復水タンク
バグフィルタ
活性炭消石灰
内部にろ布（フィルタ）が238本設置されており、排ガス中のばいじんとともに、ダイオキシン類、塩化水素、硫黄酸化物、水銀等の有害物質を捕集して除去します。
排ガス用サイレンサ
煙突
誘引送風機
排ガス循環ファン
飛灰搬送コンベヤ
飛灰貯留槽
磁選機
非鉄選別機
不燃物
アルミ
鉄
不燃物バンカ
アルミバンカ
鉄分バンカ
場外搬出
場外搬出
重金属安定化剤
再利用水
混練機
固化物バンカ
場外搬出
場外搬出
飛灰に薬剤を加えて混練することにより、化学的に安定した状態にし重金属類の溶出を防止します。

2．私たちの組織

館クリーンセンター所長以下５名の職員と運営委託職員 34 名により構成しています。
施設の運営業務は委託業者が行っています。



市職員業務	委託業者業務
• 運営モニタリング • 法令等報告書作成･提出 • ごみ処理手数料徴収（月極） • 敷地内管理 • 搬出管理（焼却残渣、有価物） • 地元調整 • 視察対応 • 環境教育の啓発・推進	• 施設運営 • 法令等報告書作成･提出 • ごみ搬入受付 • 搬入物選別作業 • ごみ処理手数料徴収（都度） • 焼却残渣、有価物搬出 • 敷地内管理 • 薬品発注 • 見学対応 • 搬入物検査

第２章　私たちの環境配慮の取組



館クリーンセンター　4F　見学フロア

１．八王子市ごみ処理基本計画「循環型都市八王子プラン」

八王子市の基本構想・基本計画である「八王子未来デザイン 2040」及び「八王子市環境基本計画」を受け、令和６年（2024 年）３月に八王子市ごみ処理基本計画「循環型都市八王子プラン」を策定しました。

このプランでは「循環型都市八王子」の実現に向け、３つの基本方針と 3 つの重点プロジェクトを設定し、市民及び事業者と市の協働のもと、さらなるごみの減量・資源化の推進をめざします。

【3 つの基本方針】
- 循環型都市八王子に向けた共創による取組の推進
- 3R とサーキュラーエコノミーに向けた取組の推進
- 持続可能なごみ処理体制の構築

【3 つの重点プロジェクト】
- 食品ロスの削減（食品ロス削減推進計画）
- プラスチック資源循環の推進
- ゼロカーボンシティに向けた取組

循環型都市八王子の核となる施設

（１）資源・エネルギーの有効利用の推進
- ごみの焼却に伴って発生する熱エネルギーを利用した発電設備により、工場内で使用する電力を賄うとともに、市役所本庁舎を含む 11 箇所の公共施設へ送電する「自己託送」を行っています。余った電力は FIT 制度を活用して、再生可能エネルギーとして高値で電力会社へ売却するほか、余剰電力についても電力会社に売却しています。
- ごみを焼却してできるばいじん及び焼却灰をエコセメント化施設に搬入しエコセメントの原料として有効利用しています。
- 工場内で使用した水は、排水処理施設で処理し、その一部を工場内の冷却水やボイラ水等に使用し、水の再利用に努めています。

（２）環境に配慮した工場の運転管理
- 工場の運転管理は、環境への影響を配慮し、汚染の防止に努めるとともに環境負荷の低減に役立つように適正な維持管理を行います。また、法令規制物質の管理目標値を定め、常に、安全な焼却炉の運転を心がけています。

2．環境負荷

令和７年度（2025 年度）の物質収支

ごみ搬入量

39,562 トン

主なもの

可燃ごみ	33,366 トン
粗大ごみ	166 トン
持込ごみ	5,997 トン

※能登半島地震の災害廃棄物 15 トン含む

主な使用薬剤

消石灰	100 トン
尿素水	36 kL
活性炭	11 トン
重金属固定剤	8 kL

エネルギー

受電電力量	109 MWh
太陽光発電電力量	11 MWh
灯油	54 kL

水

上水　10,760 m^3

館クリーンセンター

焼却（流動床式焼却方式）

焼却炉（80 トン/日×2 炉）

ごみ焼却量 37,295 トン

発電量

<蒸気タービン>

23,712 MWh

<ディーゼル>

（蒸気タービン点検時等）

18 MWh

うち場内利用

7,107 MWh

排ガス処理設備

バグフィルター

煙突

排水処理施設

場内処理後、

下水道へ放流

焼却せずに

引き抜いて資源化

不燃ごみ

67 トン

戸吹不燃物処理センターで処理

資源物

処理困難鉄

61 トン

羽毛布団

1 トン

家電雑線

1 トン

モーター

1 トン

焼却残渣

不燃物（主灰）

652 トン

ばいじん（飛灰）

1,809 トン

鉄分

288 トン

アルミ

33 トン

飛灰固化物

449 トン

CO_2

18,401 トン

下水道放流

3,114m^3

自己託送電力量

1,784 MWh

本庁舎含む

11 施設に送電

余剰電力量

（売電）

FIT 分

8,460 MWh

非 FIT 分

6,500 MWh

資源化

エコセメントの原料として有効利用（資源化）

3．環境対策

（１）排ガス（６回/年 測定平均値）

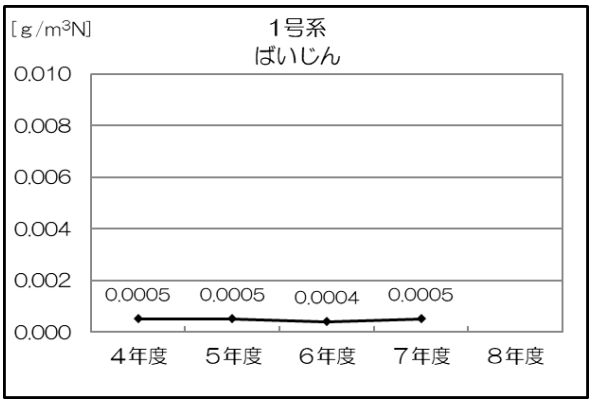
ばいじん

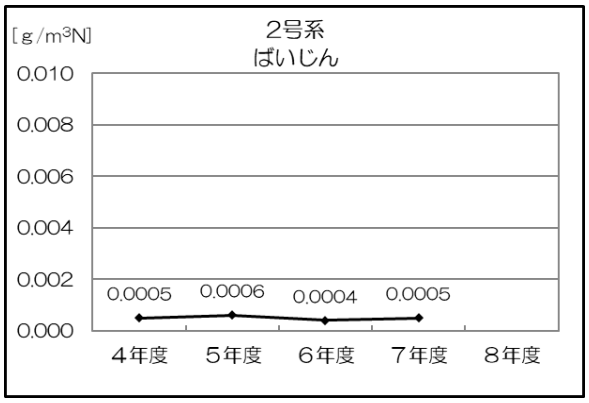
ごみ焼却によって飛散する微小な灰分である粒子状の物質です。

反応ろ過式集じん装置で除去します。

国基準値　　0.08 g/m^{3}N

自主基準値　0.01 g/m^{3}N





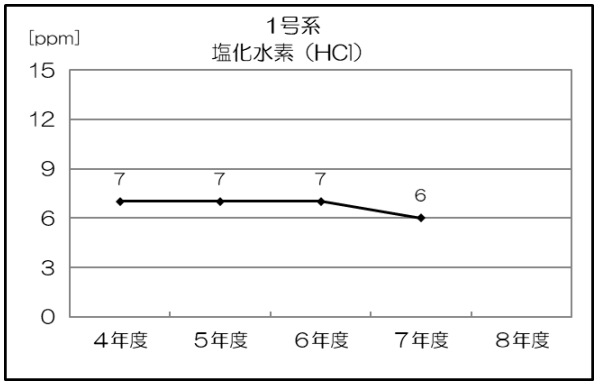
塩化水素（HCl）

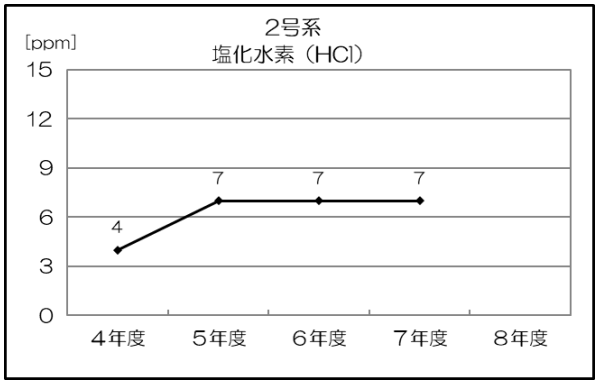
焼却すると、ごみに含まれる塩素分が炭酸ガスなどと反応して塩化水素ガスを発生します。塩化水素ガスは高反応消石灰で処理します。

国基準値　　700 mg/m^{3}N
（430 ppm）

自主基準値　　15 ppm

要監視基準値　10 ppm



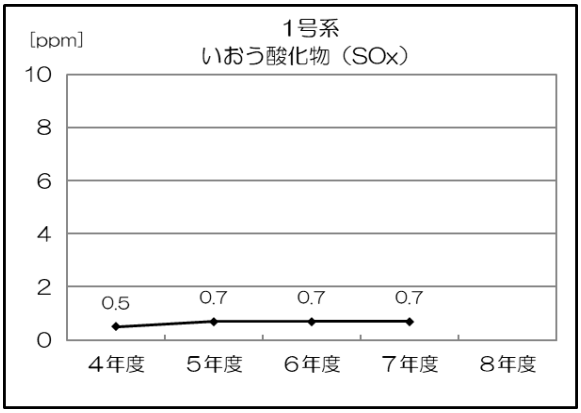


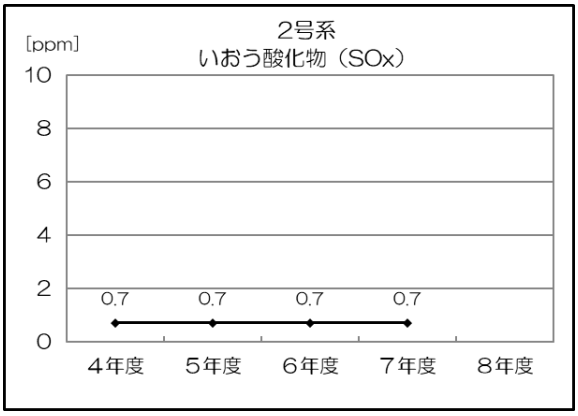
いおう酸化物（SOx）

ごみに含まれているいおう分は焼却により排ガス中にいおう酸化物を生じさせます。

いおう酸化物は高反応消石灰と反応して低減されます。法令では、煙突の高さによって規制（K 値規制）されています。

自主基準値　10 ppm

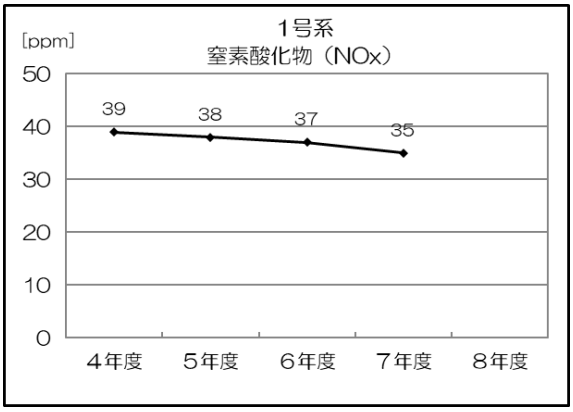


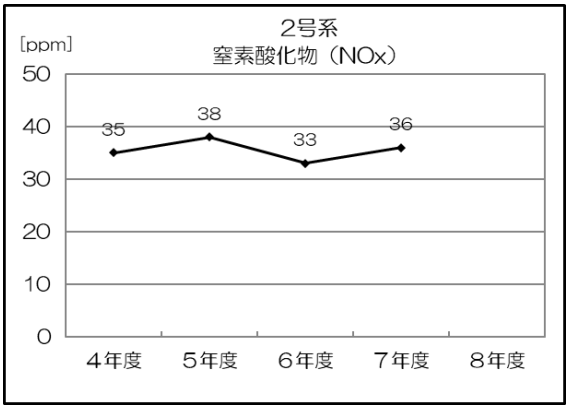


窒素酸化物（NOx）

焼却すると空気中の窒素分と酸素分が反応して窒素酸化物が生成されます。窒素酸化物は無触媒脱硝設備（尿素水を使用）により、分解除去されます。

国基準値　250 ppm
自主基準値　50 ppm

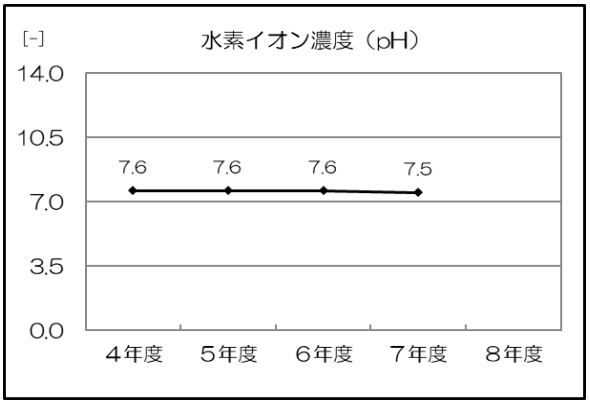




（2）放流水

水素イオン濃度（pH）：酸性、アルカリ性を示す指標となるもので、0 から 14 で表します。7は中性です。焼却後の各排水を排水処理施設で処理した後、公共下水道に流しています。

市基準値（下水道条例）　pH 5～9



生物化学的酸素要求量（BOD）

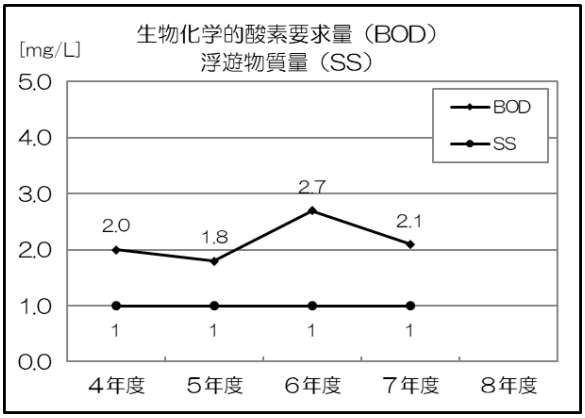
排水中の有機物の量を知るものです。

市基準値（下水道条例）600 mg/L 未満

浮遊物質量（SS）

排水中の濁りを知るものです。

市基準値（下水道条例）600 mg/L 未満



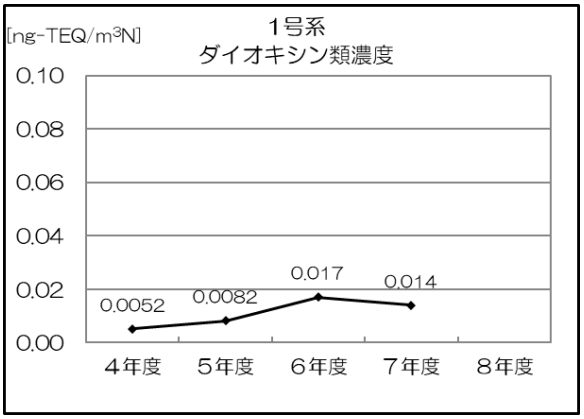
（3）ダイオキシン類（年測定平均値）

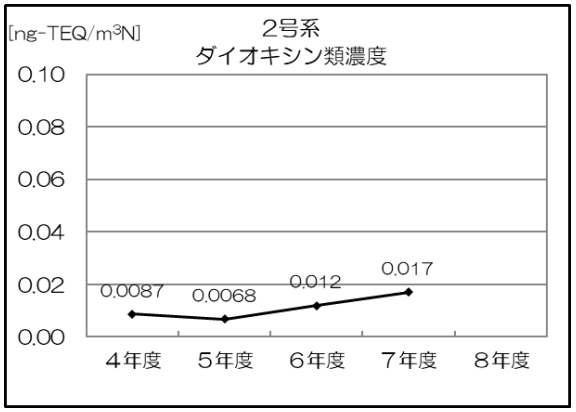
ダイオキシン類は塩素系の化合物で、ポリ塩化ジベンゾ-p-ジオキシン、ポリ塩化ジベンゾフラン、コプラナ PCB の総称です。塩素の数・位置によりそれぞれ 75 種、135 種、13 種の異性体（同じ種類で、性質などが異なる物質）があります。清掃工場では、ごみの中にある塩素系プラスチックなどが有機物質と反応してダイオキシン類が発生します。発ガン性などがあると報告されています。

排ガス

850℃以上で燃焼してダイオキシン類発生を抑制し、さらに反応ろ過式集じん装置で生成物は除去されます。

国基準値　1 ng-TEQ/m^3N
（ダイオキシン類対策特別措置法）
自主基準値 0.1 ng-TEQ/m^3N

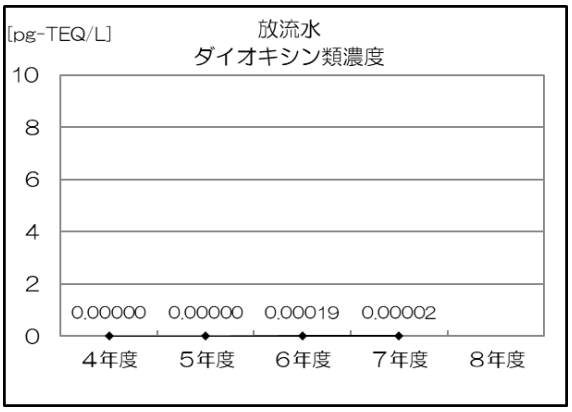




放流水

焼却後の各排水を排水処理施設で処理した後のダイオキシン類の値です。

国基準値　10 pg-TEQ/L



4．PRTR 制度に基づく排出量及び移動量

PRTR 制度：化学物質を取り扱う事業者に、化学物質の排出量、移動量の届出を義務付ける制度です。

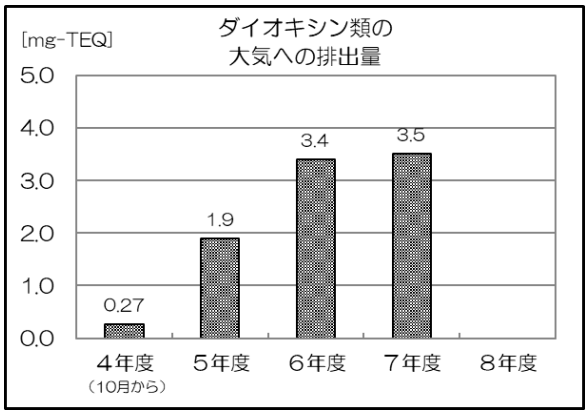
目　　的：化学物質を取り扱う事業者が、どれだけの化学物質を環境へ排出しているかについて自ら把握して届け出ることにより、化学物質の自主的な管理を促進し、環境保全上の支障を未然に防止することを目的としています。

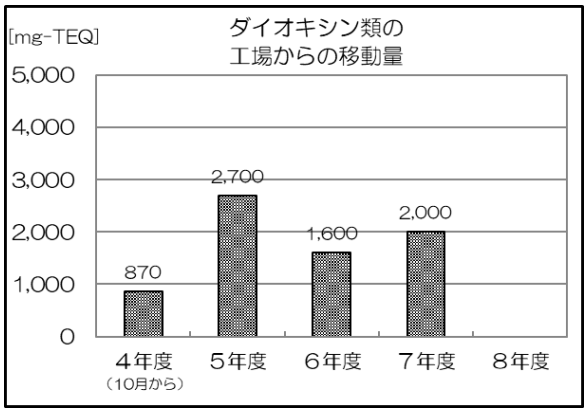
対 象 化 学 物 質：第一種指定化学物質のうちダイオキシン類など

（1）ダイオキシン類

大気への排出量：煙突からの排出量

工場からの移動量：工場から出る焼却灰（主灰）とばいじん（飛灰）のエコセメント化施設への移動量





5．熱エネルギーの有効利用

館クリーンセンターでは、ごみ焼却熱を利用して蒸気を発生させ、この蒸気でタービン発電をしています。

発電した電気は工場内で利用すると共に、11 箇所の公共施設（本庁舎・小児･障害メディカルセンター・東浅川保健福祉センター・こども科学館・ひよどり山トンネル・北野衛生処理センター・大横保健福祉センター・プラスチック資源化センター・戸吹不燃物処理センター・北野環境学習センター・戸吹清掃工場）へ送電し、余った電気は電力会社に売却しています。



蒸気タービン発電機
最大出力　4,440 kW

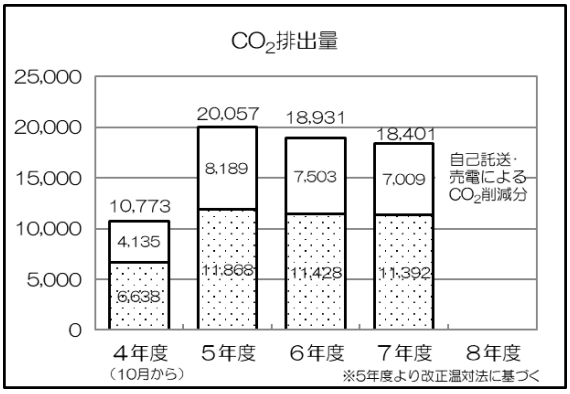
６．環境負荷を減らす取組

本市は令和4年（2022年）2月10日にゼロカーボンシティ宣言を行い、2050年脱炭素社会の実現に向けた取組を加速するため、「八王子市地球温暖化対策地域推進計画 令和5年度～令和12年度（2023年度～2030年度）」を策定しました。自治体として率先して環境配慮全般に取り組むための率先行動計画としても位置付けられており、計画期間の最終年度（令和12年度（2030年度））には、市施設からの温室効果ガス排出量（CO_2換算）を52,750トンまで下げる目標を掲げました。

本工場でも、廃棄物発電の効率的な運用を行うほか、環境分野全般における環境配慮に取り組んでいき、目標達成を目指していきます。

二酸化炭素（CO_2）排出量

ごみ焼却など、工場から排出される二酸化炭素（CO_2）の値です。自己託送及び売電を行うことで、排出量削減に貢献しています。



工場での取組

設備等の省エネ性能向上に取組、エネルギー使用量及び温室効果ガスの排出量削減に取り組んでいきます。

- 熱エネルギーの利用　：工場で作られた電気は工場内で使用されるほか、11 箇所の公共施設へ送電し、余った電気は電力会社に売却しています。
- 処理水の再利用　：焼却設備や収集車を洗車した排水を処理施設で処理し、この処理水を焼却設備、ボイラ水等に再利用しています。
- 事務室での取組　：使用済みの紙の裏面を再利用するなど、紙の使用量の削減に努めています。また、事務所蛍光灯の LED 化や不要な箇所はこまめに消灯するなど節電に取り組んでいます。
- 資源物回収　：可燃ごみのうち、新聞、ダンボール、雑誌、雑紙、シュレッダー紙、紙パックは焼却せずに資源物として回収しリサイクルに役立てています。また、不燃ごみとして持ち込まれる鉄・アルミ・自転車・小型家電などは選別して、戸吹不燃物処理センターへ運搬し、資源化しています。

・搬入物検査の実施

工場へ持ち込まれる事業系可燃ごみは、定期的に搬入物検査を実施しています。

持ち込まれたごみの中に不適物が含まれていた場合、事業者に持ち帰りを指示し、指導・改善を行っています。



ごみ検査用コンベヤ

7．安全衛生などの取組

（１）環境部事業場安全衛生委員会

環境部の事業場安全衛生委員会を毎月１回開催しています。

令和７年度（2025 年度）安全衛生事業計画における安全重点目標は「事故や災害のない職場づくり」、衛生重点目標は「みんなで取り組む 心とからだの健康づくり」です。

（２）無事故無災害運動

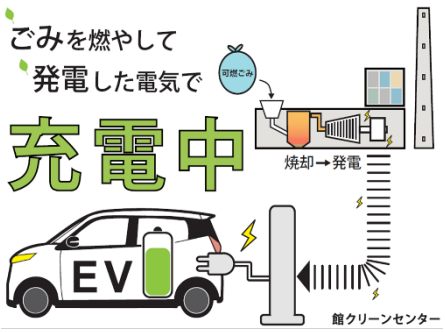
当工場では、市職員と委託職員との、毎朝のミーティング（引継ぎ、報告）を実施しています。また、毎月、モニタリング会議を実施して、市と委託業者側の意見交換や安全に関する対策など話し合いの場を設けています。

公用車を運転する際には、運転前後に点検を行うとともに、バック時に同乗者がいる場合は必ず誘導を行っています。

8．電気自動車の活用

館クリーンセンターでは、所内電力を蒸気タービンによる発電で賄っています。電気自動車と充電設備を整備し、工場で発電した電気を公用車に活用することで、環境負荷の低減を図っています。


電気自動車（公用車）



充電中イラスト（車内掲示）

第３章　コミュニケーション



自然観察の森（ビオトープ池）

１．環境情報の公開

（１）インターネットにホームページを開設しています。

HP: https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/010/p031600.html

館クリーンセンター
東京都八王子市館町 2700 番地
TEL　042-673-5632　　FAX　042-673-3926
（持ち込み予約　粗大ごみコールセンター　TEL　0570-550-530）

（粗大ごみ予約及び持ち込み受付時間）
粗大ごみを持ち込む際には事前に予約をお願いいたします。
※インターネットの場合は当日予約可能
受付時間：月曜日から金曜日（祝日を含む。年末年始を除く）
午前８時 30 分から午後５時 15 分まで
※インターネットでの予約は 24 時間予約可能（メンテナンス時を除く）
持ち込み時間：月曜日から金曜日（祝日を含む、年末年始を除く）
午前８時 30 分から午後４時 30 分まで

（２）運転状況表示盤

工場入口には排ガス中の、いおう酸化物、窒素酸化物、塩化水素、ばいじんの計測データを示す電光掲示板があります。

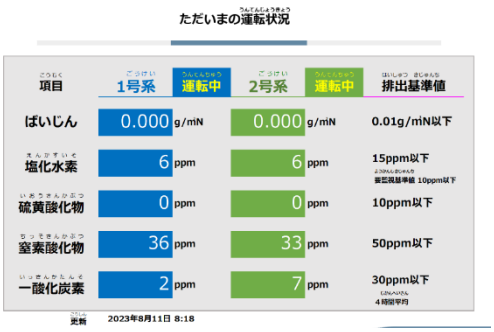
また、現在の焼却炉の稼働状況や発電電力を知ることができます。



運転状況表示盤

（３）運転状況の公開（ホームページ）

運転状況を上記ホームページからのリンクで確認することができます。更新頻度は１日２回です。



ただいまの運転状況

（４）運営協議会の開催

地域住民委員、市委員により構成される「館クリーンセンター運営協議会」構成員の方々に工場の操業状況や各種測定結果などを報告するとともに、他の清掃工場等の視察研修を行っています。



視察研修の様子

「運営協議会委員の構成」

地域住民委員	13 名
市委員	1 名
合計	14 名

２．イベント関係

館クリーンセンター構内には、カーボンニュートラルの観点から、「自然観察の森」と呼ばれる緑地を有し、多種多様な動植物が生息しています。

令和７年度（2025 年度）は、環境教育・学習の一環として、小学生を対象にした「昆虫観察会」、中学生以上を対象にした「森の中の植物教室」及び「チェアリングバードウォッチング」を開催しました。また、清掃施設に親しんでもらうとともに、ごみ減量・資源化の普及啓発の一環として、「工場見学会」及び「煙突のぼり体験」も開催しました。





昆虫観察会の様子

３．施設の見学

令和７年度（2025 年度）の見学者は、個人 13,513 人、団体 2,506 人となりました。

10 人以上の団体見学の場合は 2 週間前までに予約が必要になります。団体見学を希望の方は、事前にご連絡ください。所要時間は約 1 時間半です。個人の方の見学は下記の時間ご自由に見学ができます。

施設内の見学フロアではごみの搬入の様子や、設備の一部を見ることができます。また、環境への配慮や資源循環、ごみの分別についてゲーム感覚で楽しめます。

見学可能時間：午前９時から午後５時まで（３月から９月まで）
午前９時から午後４時まで（10 月から２月まで）



見学フロア



分別ゲーム



ごみクレーン



休憩スペース

※休憩スペースには赤ちゃん・ふらっと設備を設けております。

４．館クリーンセンターの５つの基本方針

本市の基本理念である「『循環型都市八王子』の実現」を目指し、新たに５つの基本方針を掲げています。

（１）安全・安心・安定したごみ処理施設

充分な安全対策のもと、安定稼働を続けられるごみ焼却システムなど実績ある設備で、皆様に信頼される施設運営を行います。

（２）豊かな自然環境を守り、市民に親しまれる施設

信頼性が高い公害防止設備を備え、周辺環境との調和を図ります。見学スペースや「自然観察の森」を活用し、環境学習の場、皆様の憩いやコミュニティの場となります。

（３）循環型・低炭素社会に寄与する施設

国内最高水準の熱回収技術によりカーボンニュートラルである高効率発電を実現し、廃棄物・焼却熱の有効利用、低炭素社会に貢献します。

（４）災害時に頼れる施設

発電電力を活用した自立稼働により、災害発生時にも安定・継続的なごみ処理を行うことができます。

（５）経済性に優れた施設

DBO 方式による公設民営の施設として、民間企業の最新の技術力を活用し、優れた運転操作、設備機器の合理的な維持管理により、効率的な施設運営を行います。

５．事業のあゆみ

館清掃工場から館クリーンセンターへ

年　月	出　来　事
昭和 53 年　10 月	館清掃工場着工
昭和 56 年　３月	館清掃工場しゅん工
平成 12 年　３月	館清掃工場２号焼却炉停止
平成 22 年　９月	館清掃工場閉鎖（休止）
平成 28 年　９月	館清掃工場廃止（解体）
令和　元年　８月	新館清掃工場着工
令和　４年　９月	館クリーンセンターしゅん工

建設の経緯

館清掃工場は、昭和 56 年度稼動開始の施設であり、ごみの減量と施設の老朽化のため、平成 22 年には館清掃工場を休止しました。

その後、北野清掃工場の老朽化が進み、市内のごみ処理体制を整備するために館清掃工場を解体し、新しい清掃工場を建設することになりました。

※館クリーンセンターでは、館清掃工場の模型を展示しております。館清掃工場を解体し、同じ敷地に館クリーンセンターを建設しました。敷地内の道路や建物の配置が変わっていることがわかります。



館清掃工場の模型

用語の解説

アンモニア水・尿素水

ごみの中の窒素や、空気中の窒素が燃焼、酸化されて発生する窒素酸化物（NOx）を低減させる薬剤です。

いおう酸化物　（SOx）

二酸化いおう（SO_2）、三酸化いおう（SO_3）などの総称です。ごみの中の紙類、生ごみのタンパク質、染料、加硫ゴムに含まれているいおう分は燃焼で酸化され、いおう酸化物が発生します。紫外線で酸化され無水硫酸になり、水に溶けやすいため、硫酸となり酸性雨の原因物質になります。いおう酸化物は呼吸器を刺激し、せき、呼吸困難、ぜんそく、気管支炎などを起こします。

エコセメント

焼却灰を 1400℃という高温の炉に投入し、高温反応によって一定の骨格を持った結晶性鉱物を造ります。焼却灰に含まれているいろいろな成分が石灰石の主成分である酸化カルシウムと絡み合い、普通のセメントを構成するものと同じ鉱物が出来上がります。これがエコセメントです。製品としては、土木用のインターロッキング等があります。

塩化水素（HCl）

塩化水素の発生の多くの原因としては、塩化ビニール系プラスチックの燃焼によるもの、生ごみの中の食塩など無機塩類からも発生することが知られています。雨や霧に溶け塩酸になり、酸性雨の原因物質になります。また、塩化水素は気管支炎などの呼吸器系への影響が認められています。

K 値規制

大気汚染防止法で採用しているいおう酸化物の規制方法です。一つのばい煙発生施設の排出口（煙突）から排出されたいおう酸化物が拡散して、地表に着地した時の濃度が一定の値以下となるように排出口の高さに応じて排出量を規制する方式です。K 値はいおう酸化物の許容排出量を求める際に使用する定数です。

焼却残査(しょうきゃくざんさ)

ごみや下水汚泥等を燃やして残ったものをいいます（主に焼却灰、主灰ともいいます）。また、排ガス中には、ばいじんが含まれており、これは集じん機で捕集され、この灰を飛灰といいます。

消石灰（しょうせっかい）

ごみ焼却炉で発生する有害な酸性ガス(塩化水素（HCl)、いおう酸化物（SOx）など)の除去に著しい効果を発揮する薬剤です。

重金属固定剤

ばいじんに薬剤と水を加え十分に混練し、灰の中の重金属と反応させることにより、重金属の不溶出及び封じ込め、無害安定化の効果があります。この薬剤を重金属固定剤といいます。

循環型社会

「大量生産・大量消費・大量廃棄」型の経済社会から脱却し、生産から流通、消費、廃棄にいたるまで物質の効率的な利用やリサイクルを進めることにより、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷が低減される社会をいいます。

ゼロカーボンシティ宣言

地方自治体が脱炭素社会に向けて、2050 年二酸化炭素実質排出量ゼロに取り組むことを表明することです。

ダイオキシン類

ダイオキシン類は塩素系の化合物で、ポリ塩化ジベンゾパラジオキシン、ポリ塩化ジベンゾフラン、コプラナ PCB の総称です。清掃工場では、ごみの中にある塩素系プラスチックなどが有機物質と反応してダイオキシン類が発生します。毒性は慢性毒性、内分泌かく乱作用、発ガン性等広範囲にわたる影響が報告されています。

窒素酸化物（NOx）

一酸化窒素（NO）、二酸化窒素（NO_2）の総称です。ごみの中の窒素分は生ごみのタンパク質やウレタン、メラミン、ユリアなど窒素系樹脂に含まれています。そのごみの中の窒素と空気中に含まれている窒素が焼却炉内の高温域で酸化され発生します。雨や霧に溶け硝酸になり、酸性雨の原因物質になります。窒素酸化物はせき、たんなど呼吸器障害のほか、太陽の紫外線、炭化水素と関係してオキシダントを生成し、光化学スモッグの原因になっています。

二酸化炭素（炭酸ガス、CO_2）

地球温暖化の主な原因物質は二酸化炭素（CO_2）です。プラスチックなどごみの成分の炭素が燃焼で酸化され発生します。また、家庭で使用している電気、ガス、自動車などからも発生します。二酸化炭素が大気中に増えることにより地球の平均温度が上昇します。

八王子市地球温暖化対策地域推進計画

2050 年脱炭素社会に向けて、ゼロカーボンシティ実現の方向性を示し、市民・事業者・市が一体となって地球温暖化対策に取り組むことを目的として計画されたものです。

八王子未来デザイン 2040

八王子市がどのような姿を目指して、何を行っていくのかをまとめた本市の最上位計画です。

ばいじん

ごみの燃焼に伴い発生する灰には粒径が大きい焼却灰（ボトムアッシュ）とおおむね数μmから数百μm程度で飛散性が高く、小さな粒径の飛灰（フライアッシュ）があります。この飛灰をばいじんといいます。このばいじんはダイオキシン類や比較的沸点の低い重金属を含み、ろ過式集じん機で捕集されます。ばいじんは重金属固定剤で溶出しないように無害安定化をさせています。

自己託送

発電所（戸吹清掃工場・館クリーンセンター）で発電した電気を電力会社の送配電ネットワークを利用して、離れた場所にある事業所（市の施設）などへ供給できる送電サービスのこと。

FIT（Feed-in Tariff）

再生可能エネルギー固定価格買取制度（通称：フィット）のことで、再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定価格で買い取ることを国が約束する制度です。対象となる再生可能エネルギーは「太陽光」「風力」「水力」「地熱」「バイオマス」の 5 種類で、館クリーンセンターは「バイオマス」に該当しています。動植物などの生物資

源をエネルギー源とした場合に適応される一方、それ以外のプラスチックなどには適応されず、館クリーンセンターでは約 50%が「バイオマス」分として認められています。

単位の説明

重さを量る単位

ｇ（グラム）

ｍｇ（ミリグラム）　＝　1/1,000ｇ　（千分の１グラム）

μｇ（マイクログラム）　＝　1/1,000,000ｇ　（100 万分の１グラム）

ｎｇ（ナノグラム）　＝　1/1,000,000,000ｇ　（10 億分の１グラム）

ｐｇ（ピコグラム）　＝　1/1,000,000,000,000ｇ　（1 兆分の１グラム）

ppm（parts per million）

濃度や含有率を示す時に用いる容積比や重量比を表す単位で、100 万分の１を１ppm といいます。たとえば、空気 1m^3 中に 1cm^3 の物質がふくまれているような媒体、あるいは水 1m^3（1 トン）中１ｇの物質が溶解しているような場合、この物質濃度を１ppm といいます。

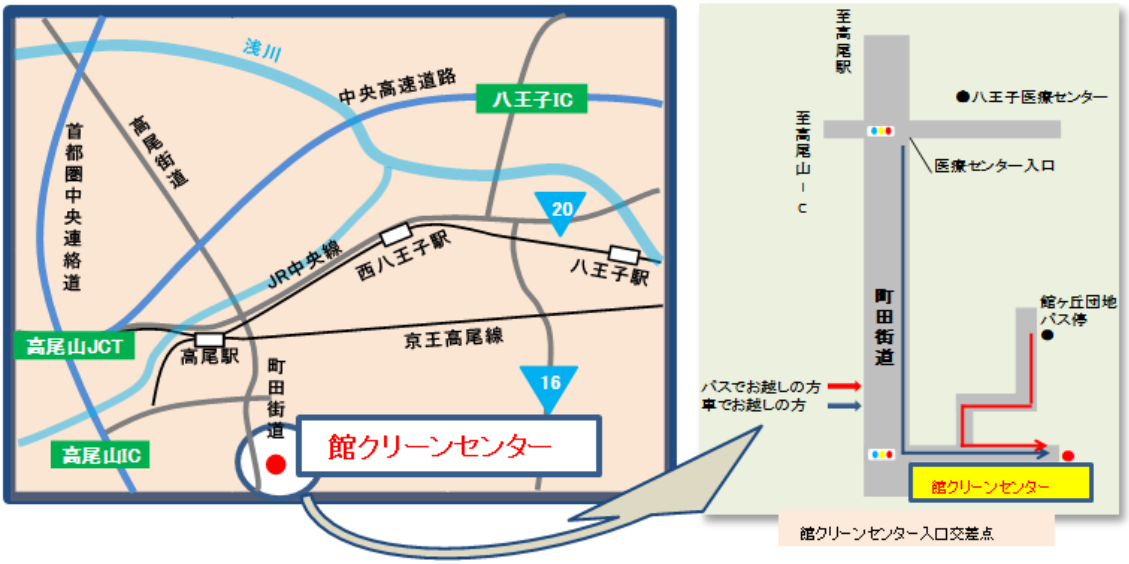
m^3N

標準状態（0℃、１気圧）における気体の体積を表す単位で「立法メートルノルマル」といいます。

TEQ（毒性等量）

ダイオキシン類の毒性の評価を表すときに用います。ダイオキシン類の中でも最も毒性の強い 2,3,7,8-TCDD の毒性を１として、他のダイオキシン類の強さを換算した単位のことです。（ngーナノグラムー10 億分の１グラムとは５０m プール（1000 m^3）に１個の角砂糖（１ｇ）を溶かした程度、pgーピコグラムー１兆分の１グラムとは、東京ドームに１個の角砂糖（１ｇ）を溶かした程度のもの）

案内図



本報告書に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

名　　称：八王子市館クリーンセンター
所 在 地：〒193-0944　八王子市館町 2700 番地
電　　話：042-673-5632
Ｆ　Ａ　Ｘ：042-673-3926

発　　行：令和８年（2026 年）９月
作 成 者：八王子市環境部資源循環施設管理課（館クリーンセンター）
発行責任者：熊澤　智（資源循環施設管理課長）
ＨＰ：https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/010/p031600.html

館クリーンセンターのマスコットキャラクター
『森の賢者ふくろう』

清掃工場の見学だけではなく、屋上広場や自然観察の森など楽しく遊び、学ぶことができる施設になっています。ぜひ、遊びに来てね！

